

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

総合学習の時間を中心として、各教科・HR活動・道徳の時間等も有機的に関連性を持たせながら、中高一貫教育のメリットを活かした組織的系統的な環境学習や国際理解を通じてESDの学びを深めることを目標に活動を進めた。

具体的には、中1から高2までの5学年に割り振られた学習プランを、各学年では研究課題と位置づけ、総合学習の時間を中心におよそ4ヶ月をかけて研究した。

課題研究は全員参加を原則とし、各クラス単位で個人または3名程度のグループに分かれて行い、その成果を、パワーポイントを用いたプレゼンテーション形式でまずクラス内で発表した。これを予選発表会とし、この時、最も評価の高かったグループの発表をクラス代表と決めた。そして2月中旬に、クラスの代表者(グループ)を一堂に会した中高合同発表会(中1～高2までの5学年に在籍する生徒全員を会した発表会)を開催し、保護者や関係機関、マスコミ等を招き、公開するとともに、課題研究結果をまとめた冊子を作製した。

また、昨年度に引き続いて「ESDパスポート」を活用し、ボランティア活動の推進に努めた。全体的な割合は依然として少ないものの、ユネスコ部の部員を中心に、ボランティア活動に参加する生徒が少しずつ増えた。今年は、30ボランティア達成者はいなかったが、昨年までの3年間(試行実施も含む)で、合計6名(高校生5名、中学生1名)が30ボランティアを達成し、認定証を授与されている。

この他にも、他校やユネスコスクール同士の連携を深め協力関係を築くことによって活動の充実と推進を図るために、年間を通して校内で参加者を募って様々な活動に参加している。主な成果としては下記のものがある。

- ・「SPACE(高校生討論会)」(6月19日)を企画・運営し、市内の高校ユネスコ部の活動として開催
- ・「第3回カンボジアスタディツアー」(8月2日～12日)に高校生1名が参加
- ・「ユネスコ子どもキャンプ」(8月8日～11日、千葉県)に高校生2名が参加
- ・「ユネスコスクール交流研修会 in 岡山 2016」(8月1日～2日)に参加
- ・「第10回全日本高校模擬国連大会」に高校生4名が選抜出場(5年連続・9回目)
- ・「ユネスコスクール交流会研修会」(3月12日)を県内のユネスコスクール3校と開催し、本校から22名が参加

以上

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）